

タイトル	試料番号を書き間違えて、やりなおし！		
-------------	--------------------	--	--

工種	<input checked="" type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
-----------	--	-------------	---

対象汚染物質	第一種特定有害物質、第二種特定有害物質、第三種特定有害物質、油類		
---------------	----------------------------------	--	--

土地履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
-------------	--	--	--



作業内容	試料採取、土壌ガス調査、土壌汚染状況調査、ボーリング調査		
-------------	------------------------------	--	--

使用機器	試料容器		
-------------	------	--	--

不具合事項

- ・ 試料採取後、試料番号を書き間違えた試料を分析機関（分析担当者）に送ってしまった。取り間違えた試料は無効となり、土壌試料採取をやり直した。

予防措置（計画者、監督者、作業員）

- ・ 試料採取地点、試料採取深度を明確にしておき、作業員に周知徹底させる。（計画者、監督者）
- ・ 名称及び番号は複数の人（監督員、職長等）に分析管理票等を用いて確認させる。（計画者、監督者）
- ・ 分析機関等に試料容器を引き渡すときは、分析管理票を作成して相互で保管する。（計画者、監督者）
- ・ あらかじめ試料採取地点に採取地点名をチョーク、ペイント、杭等で明示しておき、採取地点名の誤認を防止する。（作業員）
- ・ 試料採取前に試料容器に試料番号、採取地点名、採取深度、採取日時等を記入したラベルを貼る。（作業員）

応急措置

- ・ 取り違えた試料の特定が可能な場合、その地点の試料を再度採取して分析する。

その他、留意事項

- ・ 土壌ガス調査では採取時期が異なると正当な濃度分布が得られなくなるので、全地点で再調査が必要になる場合がある。
- ・ 試料容器のラベルの記載確認時には、併せて試料容器の破損、密栓状況を確認する。
- ・ 複数地点均等混合法の場合は、均等混合する試料を分析管理票などに明記する。

関連法規等、出典			
-----------------	--	--	--

キーワード	試料採取、ラベル、土壌ガス試料、土壌試料		
--------------	----------------------	--	--

発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 少	重大性	<input checked="" type="checkbox"/> 致命的 <input type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微
-------------	---	------------	---

タイトル	試料番号を書き間違えて、やりなおし！
説明図	<p style="text-align: center;">「試料の表記は大丈夫？」</p>  <p>The illustration depicts a worker in a brown uniform and yellow hard hat sampling soil at a site marked 'E1-1'. A thought bubble shows the worker holding a sample bottle with a label that says 'F1-1', with a question mark next to it, indicating a mistake in labeling.</p>
作業内容	試料採取、土壌ガス調査、土壌汚染状況調査、ボーリング調査
指示事項	<ul style="list-style-type: none">・採取地点の誤認防止のため、試料採取地点に採取地点名を明示すること。・試料採取前に試料容器に試料番号、採取地点名、採取深度、採取日時等をラベルに記入して貼ること。・名称及び番号は複数の人（監督員、職長等）に分析管理票等を用いて確認させる。複数地点均等混合法の場合は、均等混合する試料を管理票に明記する。
どんな不具合が起こりうるか？	
だから私たちはこうします	
本日の重点施策	ヨシ!!
サイン	